

月例経済報告（2020年1月）

● 月例経済報告（1/22）

基調判断

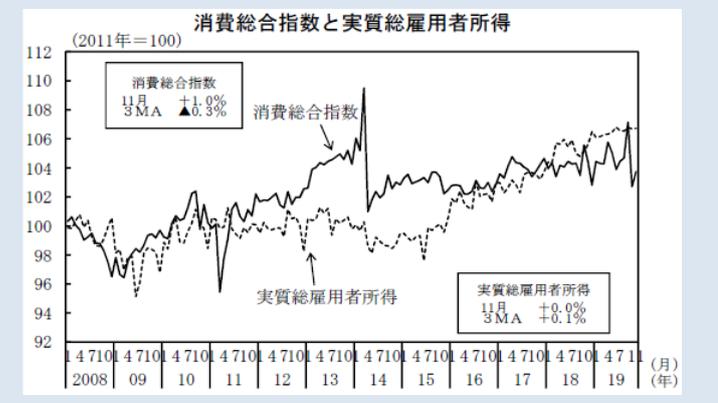
(1月) 景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。
 当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱、中東地域を巡る情勢等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。

(12月) 景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。
 当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。

個人消費

(1月) 持ち直している。

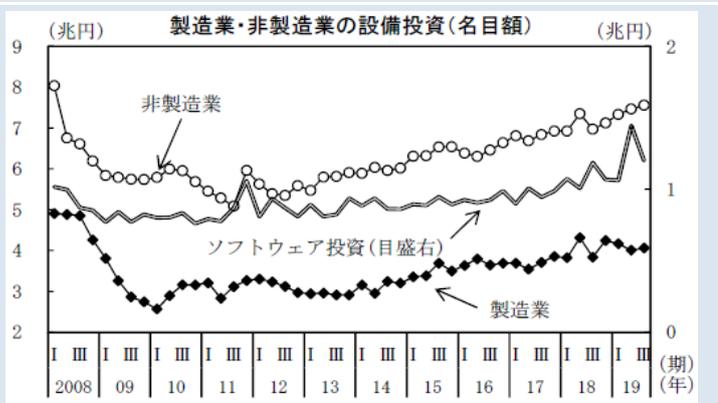
(12月) 持ち直している。



設備投資

(1月) 機械投資は、緩やかな増加傾向にあるものの、一部に弱さがみられる。

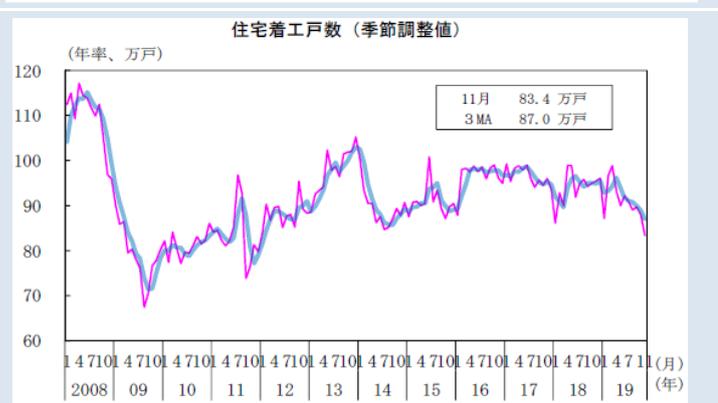
(12月) 機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。



住宅建設

(1月) 弱含んでいる。

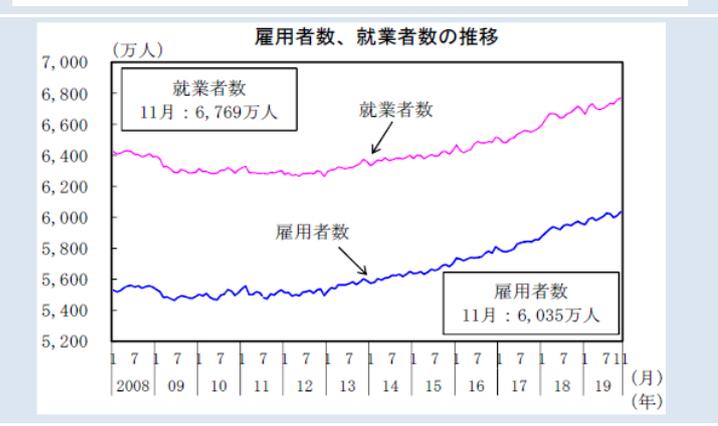
(12月) 弱含んでいる。



雇用情勢

(1月) 改善している。

(12月) 改善している。



<p>生産</p>	<p>(1月) 一段と弱含んでいる。</p> <p>(12月) 一段と弱含んでいる。</p>																
<p>輸出</p>	<p>(1月) 弱含んでいる。</p> <p>(12月) 弱含んでいる。</p>	<table border="1" data-bbox="1228 638 1364 851"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>11月</th> <th>3MA</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EU</td> <td>▲1.6%</td> <td>▲2.3%</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>▲4.7%</td> <td>▲3.0%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>+2.2%</td> <td>+1.9%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>▲2.3%</td> <td>▲0.5%</td> </tr> </tbody> </table>	地域	11月	3MA	EU	▲1.6%	▲2.3%	アメリカ	▲4.7%	▲3.0%	アジア	+2.2%	+1.9%	全体	▲2.3%	▲0.5%
地域	11月	3MA															
EU	▲1.6%	▲2.3%															
アメリカ	▲4.7%	▲3.0%															
アジア	+2.2%	+1.9%															
全体	▲2.3%	▲0.5%															
<p>国内企業物価</p>	<p>(1月) <u>このところ横ばいとなっている。</u></p> <p>(12月) このところ下落テンポが鈍化している。</p>																
<p>消費者物価</p>	<p>(1月) このところ上昇テンポが鈍化している。</p> <p>(12月) このところ上昇テンポが鈍化している。</p>																
<p>海外経済</p>	<p>(1月) 世界の景気は、全体としては緩やかに回復しているが、そのテンポは鈍化している。先行きについては、当面は回復の鈍さが残るものの、全体としては緩やかに回復していくことが期待される。ただし、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱、中東地域を巡る情勢、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。</p> <p>(12月) 世界の景気は、全体としては緩やかに回復しているが、そのテンポは鈍化している。先行きについては、当面は回復の鈍さが残るものの、全体としては緩やかに回復していくことが期待される。ただし、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。</p>																

月例経済報告：内閣府